

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公開番号】特開2009-28105(P2009-28105A)

【公開日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-006

【出願番号】特願2007-192669(P2007-192669)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月15日(2010.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を流下する遊技球を受け入れ可能な第 1 受入口と、

前記第 1 受入口への遊技球の受け入れに基づいて第 1 抽選情報を抽出しうる第 1 抽選情報抽出手段と、

前記第 1 抽選情報抽出手段によって抽出された第 1 抽選情報を第 1 の上限値まで記憶する第 1 抽選情報記憶手段と、

前記第 1 抽選情報記憶手段によって記憶される前記第 1 抽選情報について、第 1 の当たりおよび第 2 の当たりを当選種別とする抽選処理を行う抽選手段と、

前記抽選処理の結果が前記第 1 の当たりまたは前記第 2 の当たりであるときに、遊技者に多量の賞球が付与される大賞当たり遊技を実行する当たり遊技実行手段と、

遊技状態を制御する遊技状態制御手段と、

前記第 1 受入口への遊技球の受け入れが促進される促進機能を作動させる促進機能作動手段と、

を備える遊技機であって、

前記遊技状態制御手段は、

前記抽選処理の結果が前記第 1 の当たりであるときは、前記大賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態を、当選確率が相対的に高い第 1 の確率に基づいて前記抽選処理が行われると共に前記抽選手段による抽選処理にて当選するまで前記促進機能が作動する高確遊技状態に制御し、

前記抽選処理の結果が前記第 2 の当たりであるときは、前記大賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態を、前記第 1 の確率よりも当選確率が低い第 2 の確率に基づいて前記抽選処理が行われると共に所定条件が成立するまで前記促進機能が作動する第 1 特定低確率状態に制御し、

前記第 1 特定低確率状態にて前記所定条件が成立したときは、当該所定条件が成立したのちの遊技状態を、前記促進機能が作動することなく前記第 2 の確率に基づいて前記抽選処理が行われる通常遊技状態に制御するものであり、

前記遊技機は、さらに、

前記第 1 受入口よりも上方に配置され、遊技領域を流下する遊技球を、常には流下態様変化手段によって 1 球ずつ受け入れ可能な第 2 受入口と、

前記第 2 受入口への遊技球の受け入れに基づいて第 2 抽選情報を抽出しうる第 2 抽選情報抽出手段と、

を備えると共に、

前記促進機能が作動しているときは前記第 1 受入口への遊技球の受け入れ頻度が前記第 2 受入口よりも相対的に高い一方、前記促進機能が作動していないときは前記第 1 受入口への遊技球の受け入れ頻度が前記第 2 受入口よりも相対的に低く、

前記抽選手段は、

前記第 2 抽選情報抽出手段によって前記第 2 抽選情報が抽出された場合には、前記第 1 抽選情報記憶手段によって第 1 抽選情報が記憶されていない場合にのみ、当該抽出された第 2 抽選情報について、前記第 1 抽選情報についての抽選処理の結果としての前記第 2 の当りに代えて第 3 の当りを当選種別とする抽選処理を行い、

前記通常遊技状態に制御されているときの当該第 2 抽選情報についての抽選処理の結果が前記第 3 の当りであるときは、当該抽選処理の結果が当りであるにもかかわらず遊技者に付与される賞球が皆無または賞球が付与されるとしても微量の小賞当たり遊技が前記当り遊技実行手段によって実行されると共に、当該小賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態が、前記促進機能が作動しない当該通常遊技状態に制御され、

前記第 1 受入口への遊技球の受け入れ頻度が前記第 2 受入口よりも相対的に高い前記第 1 特定低確率状態に制御されているとき、前記第 2 抽選情報についての抽選処理が前記第 1 抽選情報記憶手段によって第 1 抽選情報が記憶されていない場合にのみ行われるにもかかわらず前記第 2 抽選情報についての抽選処理が行われ、当該抽選処理の結果が前記第 3 の当りであるときは、

前記小賞当たり遊技が実行されると共に、当該小賞当たり遊技が実行されたのちの遊技状態が、前記第 2 の確率に基づいて前記抽選処理が行われると共に前記第 1 特定低確率状態に制御される場合よりも遊技者に有利な態様で前記促進機能が作動する第 2 特定低確率状態に制御される

ことを特徴とする遊技機。

#### 【請求項 2】

前記促進機能作動手段は、

前記第 1 特定低確率状態に制御される場合には、前記所定条件が成立するまで前記促進機能を作動させる一方、

前記第 2 特定低確率状態に制御される場合には、前記第 1 特定低確率状態に制御される場合よりも有利な態様として、前記所定条件よりも成立が困難な第 2 の所定条件が成立するまで前記促進機能を作動させる

請求項 1 に記載の遊技機。

#### 【請求項 3】

前記遊技状態制御手段は、

前記所定条件としての前記抽選処理が所定回数行われるまで前記第 1 特定低確率状態に制御する一方、

前記第 2 の所定条件としての前記抽選処理が前記所定回数よりも多い回数が行われるまで前記第 2 特定低確率状態に制御する

請求項 2 に記載の遊技機。